

美術館に行こう

美術館に行ってみたい！・・・
でも1人では勇気がないという人に。
3年生の美術館鑑賞課題に。
ちょっと涼みながら、
アートを体感したい人に。

7月11日(金)に京都文化博物館で行われていた「黒田清輝展」の鑑賞に5名が参加しました。

▶**黒田清輝**は、「日本近代洋画の父」として知られ、明治～大正の日本洋画界に大きな影響を与えた人物です。法律家を目指してフランス、パリに留学中、絵画に興味を抱くようになり、西洋画を学びます。帰国後、当時唯一の洋画団体、明治美術会に作品を発表し、その明るい色彩の作品は洋画界に新しい風を吹き込むこととなります。その後、東京美術学校（現・東京藝術大学）の西洋画の指導者として迎えられ、さらには「白馬会」の結成など、洋画壇の中心的役割を担っていきます。その後も、文部省美術展覧会の開設、帝国美術院の創設などに関与し、後半生は公人としての日々を送りました。

▶**参加した生徒**は一人一人、とても丁寧に作品を鑑賞していました。それぞれの感性で作品と向き合い楽しみながら、友達と感想を交流しながら、会場を回っていたのが印象的でした。また、自分なりの視点で表現を鑑賞している生徒もいて、質問や意見も聞けたことは、とてもよかったです。鑑賞中の会話では次のような感想、意見が聞かれました。

「描き方がすごい」「この作品が気に入った」「絵もいいけれど額縁の装飾が凝っていてすごい」「人間の顔を描いているのに、肌色一色だけではなく青や緑も使っているいろいろな色で表現している」「これはどんなシーンを描いているのだろう」それぞれの生徒にとって、大きな刺激を受けた時間になったようです。

他者の作品を見ることで今後の表現のヒントになることもたくさんあります。また、美術館に来るのが初めての生徒もおり、これをきっかけに、「観る」楽しさや「美術館」という場所への抵抗が少しでもなくなることを願います。

